

### 今後の全体会議事録等に関する提案

会議時間の節約のためと、委員各位に論旨を正確に理解していただくために、本文書を配付し、読ませていただきます。

#### 1. 当委員会の議事録はテープの逐語記録ではない。

- 1) 前回委員長の議事録に関する発言(調整会議で協議されたもの?)には事実誤認があると判断しましたので、以下申し述べます。  
即ち、事務局ではテープを流しながら発言を圧縮して記録されているので、【逐語記録】ではなくて【逐語的記録】というのが事実であります。
- 2) ここで重要なことは、①圧縮作業のときに、発言の要旨を的確に把握すること  
②議論・会議過程の文脈を的確に把握することです。
- 3) この点に関して過去に問題例があったので、修正分を提出するとき私からクレームをつけた、という事実があります。

#### 2. 当委員会における議事録の意義とはなにか？

- 1) これについては、第3回全体会で議論をおこなっている。  
即ち、(A)簡単な要点記録でよいとする案  
(B)委員にとっては(A)案でもよいかもしれない。しかし、住民に共に考えてもらうというスタンスのためには、それでは不十分である。即ち、議論の過程をしっかりと知ってもらうことが重要である。  
そのためには、ある程度詳細なものであらねばならない。  
結果として(B)案が採択され、現在に至った。
- 2) ところが、住民のためにと町内各所に置かれた議事録は、ほとんど読まれた形跡がない。  
この原因として、①住民の関心の低さ、無さ  
②現在の形の議事録を読み通してその内容を理解するには、相当な忍耐力と努力が必要である、と私は判断します。したがって余程のことがない限り、一回懲りとなってしまおうであります。

#### 3. 今後への提案

- 1) 現在の形の【逐語的記録】にいつまでもこだわる必要はない、と私は総括します。
- 2) のぞましいのは、議論の要旨や過程が読むひとに比較的短時間できちんとわかるような詳細な要点記録でありましょう。  
しかしこれをやるとなれば、時間的、知的・体力的エネルギー負担は現在のものの数倍以上も必要になるであろう。それを事務局に要求するのは酷というものでありましょう。
- 3) 従って次善の策として、以下を提案します。  
即ち、発言者の判断で、自分の発言については必要に応じて更なる圧縮要約をおこなって整理し、それを修正分として事務局に提出する。  
このようにすると現在のものより文字の量は少なくなり要旨も整理されるので、読むひとにはかなり理解しやすくなるであろうし、且つ事務局の負担も増大するわけではない。

上記次善の策について、委員の皆様の賛否を求めます。

4. 委員会の運営に関する意見等の取り扱いについて

- 1) 前回委員長の発言は、調整会議で議論されたのかそこでの単なる談話であったのか知りませんが、それを源にしたものであったということでした。しかし、そもそも調整会議とは、各部会の進行状態を把握して足並みを揃えるための【調整】を目的として設けられたものではなかったのでしょうか？
- 2) それ以外の、委員会の運営に関する意見等、例えばこのたびのような発言は、全体会でそのひとが自分の意見として直に述べ、皆の意見を求めて善処してゆくべきものである、と私は捉えております。
- 3) 従って、このたびのように調整会議で話しあわれたものがあたかも調整会議からの指令のような形で委員長発言(このたびは警告であった)となる、このような委員会運営のあり方に対して私は違和感を抱きます。
- 4) われわれの委員会は、条例策定という共通目的に向かって、さまざまな視点から議論を繰り返し、同時に、そのためにはどのような委員会運営をおこなえば最善となるのか、皆で絶えず現状を批判的に見直し、真に建設的なものとなるように考察を繰り返す、そんな主体的な存在者の集まりであるはずで、それゆえ、企業の戦略会議のように、上位に司令塔があってその指令のもとで行動するように位置づけられている、そんな組織であってはならないと思います。

以上